

年 組 名前:



金魚旅の出発地点として検討されている市歴史公園＝甲府市北口2丁目



三枝 大悟  
杉原みずき

# 金魚伝来ルート 歩いてたどる

甲府―奈良・大和郡山 440キロ

10月企画 両市協力

甲府市の姉妹都市・奈良県大和郡山市は10月、大和郡山市の名産品となっている金魚が江戸時代に甲府市から伝来したルート約440キロを歩くプロジェクト「金魚旅」を実施する。甲府市も協力する予定で、出発式の会場を市歴史公園に設定するなど検討を進めている。

〈三枝大悟〉

大和郡山市の金魚は1724年、甲府城主だった柳沢吉里が国替えにより家族や家臣と共に大和郡山に移った際、吉里によって甲府から大和郡山に持ち込まれ、普及したとされている。大和郡山市は今年を金魚伝来300年記念と位置付け、伝来ルートをたどるイベントを企画した。

10月23日に甲府市で出発式をした後、長野県諏訪市までの甲州街道約72キロ、京都市までの中山道約323キロ、大和郡山市までの奈良街道約45キロの計約440キロを歩く。11月3日に大和郡山市に到着する予定となっている。

ルートの最終調整は今後行われるが、全行程約440キロを甲府市歴史公園―北杜市白州町台ヶ原など11区画に分けて設定する。大和郡山市民ら約70人が各区分ごとに6人程度に分かれて歩く計画。編みかきや法被を身に著け、同市や金魚をPRしながら歩くという。

大和郡山市は昨年12月、甲府市に金魚旅の企画について連絡。甲府市は柳沢吉里が城主を務めたことちなみ、甲府城があった市歴史公園での出発式を提案することなどを検討していた。金魚旅に協力していく考え。今後は市職員らからメンバーを選抜し、途中まで帯同して一緒にPRしていく方針だ。

大和郡山市教委生涯学習課の担当者は「金魚を通じた甲府市との縁についてもPRできるように、しっかりと歩きたい」と意気込んでいる。

(2024年8月29日付 山梨日日新聞 13面)

問1 甲府市から奈良県大和郡山市まで歩く「金魚旅」が実施されます。なぜこの区間が、金魚伝来ルートと言われているのですか。

.....

問2 金魚旅では、3つの街道を通ります。その街道名と距離を教えてください。

.....キロ .....キロ .....キロ

問3 金魚旅は、いつからいつまで何日間を、どのような服装で歩きますか。

・期間: .....月 .....日から .....月 .....日まで .....日間

・服装: .....

問4 五街道と呼ばれる街道名を、すべて教えてください。

.....